

平成23年度

筑紫野市教育委員会  
点検・評価報告書

平成24年12月

筑紫野市教育委員会

# 目 次

I. はじめに	2
II. 教育委員会の活動状況等	2
(1) 教育委員会の構成	2
(2) 教育委員会会議付議事項	3
(3) その他の活動状況	5
III. 事務事業の点検・評価	6
<生涯にわたって、いつでも、どこでも、だれでも学べる教育環境の整備>	
1. 学校教育の充実	7
2. 青少年の健全育成	11
3. 生涯学習・社会教育の推進	15
4. スポーツ・レクリエーションの推進	29
<認めあい、共に生きる人権尊重社会の醸成>	
5. 人権意識の向上	32

## I. はじめに

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすため、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが規定されました。

この報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条の規定に基づき、作成したものです。

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価)

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

## II. 教育委員会の活動状況等

### (1) 教育委員会の構成

(平成24年4月1日現在)

委員の区別	氏名	年齢	委員としての任期	
			任命年月日	満了年月日
委員長	近本 明	77	H20.10.04	H24.10.03
委員（委員長職務代理者）	潮見 眞千子	59	H21.12.21	H25.12.20
委員	高山 百合子	54	H20.06.23	H24.06.22
委員	古賀 勇	50	H23.03.07	H27.03.06
教育長	寺崎 和憲	59	H21.01.01	H24.12.31

(2) 教育委員会会議付議事項

開催番号	開催日	付 議 事 項
平成23年 第4回	4月28日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○筑紫野市教育委員会公印規程の一部を改正する規程の制定について</li> <li>○筑紫野市民図書館対面朗読実施要綱の制定について</li> <li>○紫野市奨学生の選考について</li> <li>○教育長の報告について</li> <li>○各課からの報告について</li> </ul>
第5回	5月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○筑紫野市立山家幼稚園の保育料等の減免に関する規則の一部を改正する規則の制定について</li> <li>○筑紫野市立図書館設置条例施行規則の一部を改正する規則の制定について</li> <li>○筑紫野市社会教育委員及び筑紫野市生涯学習センター協議会員の委嘱について</li> <li>○工事請負契約の締結について</li> <li>○工事請負契約の締結について</li> <li>○教育長の報告について</li> <li>○各課の報告について</li> </ul>
6回	6月30日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○平成23年度筑紫野市一般会計予算〈教育費〉について</li> <li>○筑紫野市社会教育委員及び筑紫野市生涯学習センター協議会委員の委嘱について</li> <li>○筑紫野市立図書館協議会委員の委嘱について</li> <li>○教育長の報告について</li> <li>○各課の報告について</li> </ul>
第7回	7月29日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○平成24年度使用中学校用教科用図書の採択について</li> <li>○筑紫野市代替市民プール通年開放事業実施要綱を廃止する要綱の制定について</li> <li>○平成24年度使用小学校用教科用図書の採択について</li> <li>○教育長の報告について</li> <li>○各課の報告について</li> </ul>
第8回	9月29日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○筑紫野市教育委員会委員長の選挙の件について</li> <li>○委員長職務代理者の指定の件について</li> <li>○平成22年度筑紫野市一般会計歳入歳出決算（教育費）について</li> <li>○平成22年度筑紫野市奨学資金貸与事業特別会計歳入歳出決算について</li> <li>○平成23年度筑紫野市一般会計補正予算（第1号）教育費について</li> <li>○筑紫野市教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正について</li> <li>○筑紫野市陸上競技場の設置及び管理に関する条例等の一部を改</li> </ul>

		<p>正する条例の制定について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○筑紫野市教育委員会事務局組織及び職務執行規則の一部を改正する規則の制定について</li> <li>○筑紫野市体育指導委員に関する規則の一部を改正する規則の制定について</li> <li>○筑紫野市スポーツ振興審議会規則の全部を改正する規則の制定について</li> <li>○教育長の報告について</li> <li>○各課の報告について</li> </ul>
第9回	11月2日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○阿志岐山城跡保存整備計画専門委員会設置条例の制定について</li> <li>○筑紫野市学校給食共同調理場学校給食用物資納入指定業者に関する規程の全部を改正する規程の制定について</li> <li>○教育長の報告について</li> <li>○各課の報告について</li> </ul>
第10回	11月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○筑紫野市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について</li> <li>○平成23年度筑紫野市一般会計補正予算(第2号)(教育費)について</li> <li>○損害賠償の額を定め和解することについて</li> <li>○教育長の報告について</li> <li>○各課の報告について</li> </ul>
第11回	12月22日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市長の権限に属する事務の補助執行について</li> <li>○筑紫野市奨学生の選考の件について</li> <li>○筑紫野市奨学生の選考の件について</li> <li>○筑紫野市奨学生の選考の件について</li> <li>○筑紫野市奨学生の選考の件について</li> <li>○(史跡)阿志岐山城跡追加指定(意見具申)について</li> <li>○教育長の報告について</li> <li>○各課の報告について</li> </ul>
平成24年第1回	1月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教職員の個人情報紛失に伴う処分について</li> <li>○筑紫野市奨学生の選考について</li> <li>○筑紫野市青少年指導員に関する規則を廃止する規則の制定について</li> <li>○教育長の報告について</li> <li>○各課の報告について</li> </ul>
第2回	2月27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○筑紫野市教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例の制定について</li> <li>○平成24年度筑紫野市教育行政の主要施策(案)について</li> <li>○平成22年度筑紫野市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検・評価について</li> <li>○筑紫野市教育委員会事務局組織及び職務執行規則の一部を改正する規則の制定について</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>○筑紫野市運動広場等の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について</li> <li>○筑紫野市勤労青少年ホームの設置及び管理に関する条例施行規則等の一部を改正する規則の制定について</li> <li>○筑紫野市生涯学習システム管理運営規則を廃止する規則の制定について</li> <li>○筑紫野市生涯学習推進本部設置要綱の一部を改正する要綱を廃止する要綱の制定について</li> <li>○筑紫野市歴史博物館設置条例の一部を改正する条例の制定について</li> <li>○筑紫野市立図書館設置条例の一部を改正する条例の制定について</li> <li>○筑紫野市立図書館協議会規則を廃止する規則の制定について</li> <li>○筑紫野市子どもの読書活動推進計画について</li> <li>○市長の権限に属する事務の補助執行について</li> <li>○教育長の報告について</li> <li>○各課の報告について</li> </ul>
第3回	3月27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○平成23年度筑紫野市一般会計補正予算（第3号）について</li> <li>○平成23年度筑紫野市一般会計補正予算（第4号）〈教育費〉について</li> <li>○平成23年度筑紫野市奨学資金貸与事業特別会計補正予算（第1号）について</li> <li>○平成24年度筑紫野市一般会計予算〈教育費〉について</li> <li>○平成24年度筑紫野市奨学資金貸与事業特別会計予算について</li> <li>○筑紫野市生活交通対策に係るサービス計画検討委員会設置要綱等の一部を改正する要綱について</li> <li>○損害賠償の額を定め和解することについて</li> <li>○筑紫野市青少年指導員に関する規則について</li> <li>○筑紫野市歴史博物館管理運営規則の一部を改正する規則の制定について</li> <li>○筑紫野市立図書館設置条例施行規則の一部を改正する規則の制定について</li> <li>○平成24年度筑紫野市立小中学校の給食費について</li> <li>○教育長の報告について</li> <li>○各課の報告について</li> </ul>

以上の付議事項は全て可決・承認されました。

(3) その他の活動状況

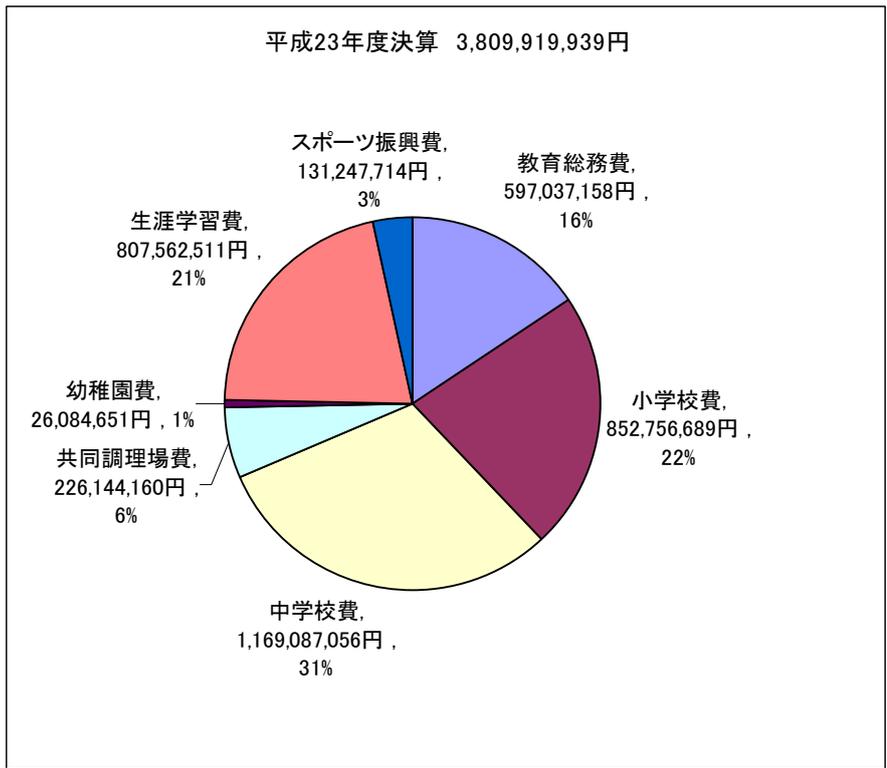
- ① 学校訪問・・・市内全小中学校を訪問
- ② 各種行事等・・・入学（園）式、卒業式、運動会、体育会、教職員赴任式等に出席
- ③ 研修等・・・九州地区教育委員研修大会・筑紫地区教育委員研修会等に参加
- ④ その他・・・定期的学校訪問

### Ⅲ. 事務事業の点検・評価

本市では、継続的に行っている事務事業について、内容の点検を行う事務事業評価制度を導入し、事務の効率化を図っています。

#### (1) 教育費の決算状況

平成23年度の教育費関係決算額38億991万9,939円で、一般会計(315億9億6,386万6,027円)に占める教育費の割合は12.1%となっており昨年度の教育費関係決算額28億4,272万8,820円、9.6%と比べて大きく増加しています。これは、平成23年度に二日市小学校(4億9,960万9,450円)、二日市中学校(9億6,583万3,220円)の2校で耐震化工事(校舎棟や屋内運動場の改築工事等)を実施したことによります。



#### (2) 事務事業評価

- A . . . . . 成果があがっている
- B . . . . . どちらかといえばあがっている
- C . . . . . あがっていない

生涯にわたって、いつでも、どこでも、だれでも学べる教育環境の整備

1. 学校教育の充実

基本事業	事務事業	● 事業の意図	評価
		◇ 活動状況等	
教育環境の整備	1. 特別支援教育推進事業	●市内小中学校に在籍する、障がいのある児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善・克服する。	A
		◇特別支援学級設置16校中12校に介助員を配置した。(複数配置校があるため、23人配置)	
教育環境の整備	2. 児童生徒等通学支援事業	●児童の通学途上における安全確保を講じることにより教育環境を良好に保つ。	A
		◇天山バス…児童数28人 稼働200日 平等寺除雪…除雪回数2回 馬市タクシー…児童数2名 稼働199日 天拝小… 指導日数200日 二日市東…指導日数200日	
教育環境の整備	3. 小学校教材・図書整備事業	●学校図書館の図書及び教師用図書の整備により充実した学校教育が受けられる。平成24年度から名称を「小学校備品等整備事業」に変更。	B
		◇学校教育の振興のため、教材の整備充実、学校図書館の図書及び教師用図書の整備充実を行なった。 事業費 5,065,839円	
教育環境の整備	4. 小学校備品整備事業 (H23廃止事業)	●小学校における備品の充実を図ることにより教育環境の向上につながる。この事業の成果指標がパソコンソフトの購入についてのみとなっているため、平成24年度から小学校教材・図書整備事業に統合。	B
		◇各学校の特色に応じたコンピュータソフトを購入、授業等への活用を推進した。 事業費 250,782円	
教育環境の整備	5. 中学校教材・図書整備事業	●学校図書館の図書及び教師用図書の整備により充実した学校教育が受けられる。平成24年度から名称を「中学校備品等整備事業」に変更。	B
		◇学校教育の振興のため、教材の整備充実、学校図書館の図書及び教師用図書の整備充実を行なった。 事業費 2,800,428円	
教育環境の整備	6. 中学校備品整備事業 (H23廃止事業)	●中学校における備品の充実を図ることにより教育環境の向上につながる。この事業の成果指標が、パソコンソフトの購入についてのみとなっているため、平成24年度から中学校教材・図書整備事業に統合。	B
		◇各学校の特色に応じたコンピュータソフトを購入、授業等への活用を推進した。 事業費 236,970円	
教育環境の整備	7. 私立幼稚園育成助成金	●公立幼稚園が1園しかなく、それを補完する私立幼稚園の振興	B
		◇市内私立幼稚園7園に助成均等割及び園児数割	

教育環境の整備	8. 二日市小学校耐震化事業	●安全で安心して教育が受けられ、教育が出来る教育環境	A
		◇平成22年度に運動場側にプレハブ校舎を建設・引越しを終えた後、平成23年度に屋内運動場・校舎（九電側）を解体・改築し平成24年5月に屋内運動場・校舎が完成。	
教育環境の整備	9. 二日市東小学校耐震化事業	●安全で安心して教育が受けられ、教育が出来る教育環境	A
		◇平成23年度に運動場にプレハブ校舎を建設し、平成24年度に校舎を解体・改築予定。	
教育環境の整備	10. 原田小学校プレハブリース事業	●安全で安心して教育が受けられ、教育が出来る教育環境	A
		原田小学校通学区域での急激な児童数の増加により、当面普通教室等が不足するため6教室のプレハブ校舎を建設。	
教育環境の整備	11. 二日市中学校耐震化事業	●安全で安心して教育が受けられ、教育が出来る教育環境	A
		◇平成22年9月から新校舎改築工事に着工し平成23年8月に完成した。その後、既存校舎の改修工事やプール建築を終え、現在運動場の工事をおこなっている。	
教育環境の整備	12. 筑山中学校エレベーター設置事業	●安全で安心して教育が受けられ、教育が出来る教育環境	A
		◇肢体不自由児学級に在籍する生徒が円滑に学校施設を利用できるようエレベーター設置工事を行う。	
教職員の資質の向上	13. 情報教育推進事業	●情報教育の活性化及び各教科においてコンピュータを有効に利用するために、コンピュータ機器を万全な状態にしておくことで、問題なく授業を行う。	A
		◇成21年度から本年度にかけ、学校ICT環境整備事業を活用し、平成23年度末までに市内全小中学校のコンピュータ教室の機器の更新を行った。	
教職員の資質の向上	14. 小中学校教育研究指定校補助金	●児童生徒への授業の力量を高める実践的研究を行い、指定校において公開授業等の研究成果を広く公開していく。	A
		◇研究指定校 1年目（阿志岐小、山口小、筑紫野南中） 2年目（二日市小、筑紫東小、二日市中） 3年目（山家小、原田小、天拝中） ※研究発表会：山家小（171名） 原田小（230名） 天拝中（103名）	
確かな学力の育成	15. 外国語教育推進事業	●日本語的英語ではなく、現地の英語や文化習慣に触れる時間を多くして、身近に触れさせている。	B
		◇ALT4名(内訳：市単費4名) 年間派遣時数：中学校 925時間 小学校 859時間	
確かな学力の育成	16. 少人数指導推進事業	●学級や学校全体の人数を分割し、子ども一人ひとりに目が行き届くようきめ細かな指導を行い、学力の向上を図る。	B
		◇小学校2年生までの少人数学級を行うため、市費非常勤講師を	

		配置。1726時間実施。																																			
豊かな心の育成	17. 児童生徒等心の支援事業	<p>●指導員3名を配置し、心理的や情緒的に登校できない児童生徒への適応指導、また児童生徒や保護者のカウンセリング等で学校復帰を支援し、不登校児童生徒の社会的自立を目指す。</p> <p>◇市内の小中学校において、不登校となった数124名（小：26、中：98）で、内いじめが原因となった数は6件（全て中学校）</p> <p>適応指導教室の年間動向</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>小</th> <th>中1</th> <th>中2</th> <th>中3</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">入級</td> <td>継続</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>新規</td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td>4</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td colspan="2">学校復帰</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>9</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td colspan="2">年度末在籍</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>4</td> <td></td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table> <p>*学校復帰の中3の1名は海外に転出し通学している。残る8名はすべて高校等へ進学している。</p> <p>*年間106件の見学や相談があった。</p>			小	中1	中2	中3	計	入級	継続	1	2	3	5	11	新規			2	4	6	学校復帰				1	9	10	年度末在籍		1	2	4		7	A
		小	中1	中2	中3	計																															
入級	継続	1	2	3	5	11																															
	新規			2	4	6																															
学校復帰				1	9	10																															
年度末在籍		1	2	4		7																															
豊かな心の育成	18. スクールカウンセラー事業	<p>●適応指導教室（つくし学級）や中学校に配置している心の教室相談員との連携を通じた支援、療育相談等の就学指導等に関わる関係機関との連絡調整など、教育全般に関わる相談事業ののコーディネートを行う。</p> <p>◇市費雇用で中学校に配置している心の教室相談員や、つくし学級に大学より派遣されているヤングアドバイザー（14名、年間295回、児童・生徒の心の開放をねらいとする関わりをしている）へのアドバイザー的な関わりをしている。更に療育相談や子育て支援等の健康・福祉分野との連絡調整を図りつつ、教育相談コーディネーターの任務も果たしている。</p>	A																																		
豊かな心の育成	19. 心の教室相談事業	<p>●中学校に「心の相談員」を5名配置し学校における生徒の悩み等の相談を行い、ストレスを和らげて心にゆとりがもてることを目的としている。</p> <p>◇生徒の悩みを受け止め、ストレスを和らげることを中心的業務としつつも、学校現場の事情によって、教室に入れない等の生徒の相手をする場合もある。1日4時間、週16時間を基本にしつつ、8月は休みとして取り扱っている。相談を受けた件数は、二日市中（554）、筑山中（1506）、筑紫野中（1365）、天拝中（756）、筑紫野南中（400）となっている。</p>	A																																		
豊かな心の育成	20. 中学校文化・体育奨励援助費補助金	<p>●学校体育・スポーツ・文化活動を通じて、規範意識の向上や道徳性を身に付けることができる。</p> <p>◇（文化）</p> <p>5校： 852,620円</p> <p>（体育）</p> <p>筑前大会： 627,980円</p> <p>県大会： 449,840円</p> <p>九州大会：1,316,960円</p>	A																																		

		<p>全国大会： 934, 876円          新人戦筑前大会：505, 180円 県大会：137, 400円</p>	
健やかな体の育成	21. 学校保健管理事業	<p>●健康診断を行うことで、児童・生徒及び職員の健康の保持増進を図る。</p> <p>◇学校保健安全法による事業          一般健康診断（175名）          胃検診（155名）          尿検査（1次：9096名、2次453名）          ぎょう虫検査（6174名）          心臓（1次：1,945名、2次：88名）          結核（1次：351名、2次：3名）          学校検診（9040名）          就学前検診（967名）</p>	A
健やかな体の育成	22. 共同調理場給食運営事業	<p>●学校給食は、児童生徒に栄養のバランスがとれた食事を提供することにより、すべての児童生徒の健康増進と体位の向上を図っている。</p> <p>◇市内の小中学校の児童生徒及び教師等に年間189日（約9、600食/日）の給食を共同調理場方式で実施した。平成23年度は、小学校8校が2学期制をとっている。3学期制の学校よりも3日早く給食開始。</p>	A
健やかな体の育成	23. 給食会助成金	<p>●市学校給食会に助成金を交付することで、給食会の運営が円滑に行われる。</p> <p>◇23年度は、調理員衛生講習会や市料理コンクールの実施。県の料理コンクール出場や栄養士の研究大会への参加。食育推進に関する事業として、親子料理教室の開催、食育だより、給食便りの発行、小学3年生を対象にした学校訪問では、給食時間に食に関する指導を行い会食を行った。</p>	A
就園、就学の支援	24. 専修学校等技能習得資金貸与事業	<p>●就労に必要な技能及び知識の習得を図り、社会において有為な人材の育成を図る。</p> <p>◇復学に伴う8月からの貸与再開者が1名いたが、9月から再休学したため、8月と9月の貸与のみ行った。</p>	B
就園、就学の支援	25. 学校就学援助・奨励事業	<p>●経済的な理由によって就学困難な児童生徒への義務教育の就学を円滑に行う。</p> <p>◇援助児童生徒数実績          要保護：42人          準要保護：1,490人          合計：1,532人          特別支援就学奨励実績          小学校：55人 中学校：18人          合計：73人</p>	A
就園、就学の	26.	●遠隔地にある学校への通学支援を行うことで幼児教育、義務教	

支援	遠距離通学補助事業	育を受ける環境を整えることができる。 ◇遠距離通学対象者児童生徒数 16人	A
就園、就学の支援	27. 幼稚園就園奨励等事業	●公立・私立幼稚園に在園している3・4・5歳児に幼稚園教育の振興を図るため、幼稚園保育料等の補助を行う。 ◇公立 8人(減免) 私立 1,169人	A
就園、就学の支援	28. 奨学資金貸付事業	●経済的理由によって進学又は修学が困難な生徒に対し学資を貸与し、有用な人材の育成を図る。 ◇新規貸与者として、高校6名を採用した。 高校5名、大学3名に対し継続して貸与を行った。	A
施策の総合推進	29. 学校教育研究会補助金	●教育研究会等にそれぞれの教職員が参加することで、当該専門的知識の習得や幅広い知識の習得を目指すとともに、学校運営の円滑化を図る。 ◇講演、実践発表を実施。 ・市教育研究会研修4回 ・筑紫地区教育懇談会研修2回 ・筑紫野市・太宰府市研究会合同研修会1回	B

## 2. 青少年の健全育成

基本事業	事務事業	● 事業の意図	評価
		◇ 活動状況等	
学習機会、体験活動の充実及び情報の提供	30. 地域子ども会活動費補助金	●単位子ども会の活性化を図る。 子ども達の体験活動を充実させるとともに、親の教育力を高め学習機会を充実させる。 ◇ 単位子ども会支援策として補助金総額2,320千円を交付した。交付単位子ども会数55団体	A
学習機会、体験活動の充実及び情報の提供	31. 子どもセンター事業	●子ども向けの情報誌を作成し配布することにより子どもたちの体験活動の推進を図る。 ◇子ども情報誌「キッズ・ウィンドー」の発行 7月、9月、12月、3月 各10,000部発行 配布先： 市内各小・中学校 9,500部 市内公共施設,各郵便局,農協等 500部	A
学習機会、体験活動の充実及び情報の提供	32. 生涯学習フェスティバル青少年部会事業	●青少年関係団体の活動状況等の紹介をすることで、より多くの青少年が青少年プラザを容易に利用できるようになる。 ◇ ・青少年関係団体の活動状況等の紹介 ・青少年プラザを利用した遊びの体験 ・青少年に関する情報のアピール ・期日：平成23年10月29日・30日 ・お化け屋敷、わなげ、ボウリング、つり、科学実験 ・青少年事業の紹介展示コーナー	A
学習機会、体	33.	●生涯学習センター利用の青少年の組織化を図り、相互の連帯感	

<p>験活動の充実 及び情報の提供</p>	<p>ロックフェスティバル事業（ちくちく Merry フェスティバル）</p>	<p>を高め、利用マナーの向上を目指す。また、青少年の主体性・自主性を育成し、発表の場を提供することにより青少年の達成感を味わわせる。</p> <p>◇生涯学習センター利用の青少年の組織化を図り、相互の連帯感を高め、センター利用マナーの向上を目的にロックフェスティバルを実施</p> <p>・期日：平成23年8月21日（日）</p> <p>・内容：バンド 7グループ ダンス 2グループ</p> <p>：ポスター展示（ロビー） 市内2高等学校からの作品を展示</p> <p>※ 参加グループによる自主的な企画会議、当日の運営が定着した。</p>	<p>C</p>
<p>学習機会、体験活動の充実 及び情報の提供</p>	<p>34. 竜岩自然の家主 催講座事業</p>	<p>●施設を取り巻く豊かな自然環境や学習資源を生かしながら、多彩な学習プログラムの提供を図り、利用者の自然体験活動等の体験者を増やす。</p> <p>◇市民の自然体験活動等の推進を図るための主催事業を実施した。</p> <p>・キャンプ指導者養成講座 中止</p> <p>・フリークライミング教室 参加者 730人 (少年293人 一般437人)</p> <p>・ファミリーキャンプ 参加者 89人（24学級）</p> <p>・ドラゴンロック 参加者 450人</p>	<p>A</p>
<p>青少年の居場所づくり</p>	<p>35. 青少年育成事業 （B G レンジャー）補助金</p>	<p>●様々な体験活動や行事等を通じて心豊かな青少年の育成とまちづくりの推進を図る。</p> <p>◇心豊かな青少年の育成とまちづくりを推進するための事業支援策として、事業に補助金総額130千円を交付した。</p> <p>・継続分： 3件 130千円</p> <p>・新規分： 0件 0千円</p>	<p>B</p>
<p>青少年の居場所づくり</p>	<p>36. 子どもフェスティバル事業補助金</p>	<p>●子どもたちが、友達と協力しあって地域でいきいきと遊ぶことができている。</p> <p>◇第11回子どもフェスティバルちくしの&amp;第21回子ども市を実行委員会形式で実施</p> <p>期日：平成23年4月29日</p> <p>会場：カミーリヤ</p> <p>内容：子ども市、昔遊びコーナー、ちびっこ遊びコーナー、人形劇、おもちゃ病院 等</p>	<p>A</p>
<p>青少年の居場所づくり</p>	<p>37. 青少年プラザ事業</p>	<p>●青少年プラザを青少年の交流の場として開放し、青少年関係団体の活動の紹介や発表の場として、また、情報提供や体験学習の場として提供することにより、青少年がいつでも気軽に集まることができる。</p> <p>◇少年の交流の場、青少年関係団体の活動の紹介や発表の場、また、情報提供や体験学習の場として提供した。</p> <p>・情報コーナー</p> <p>・作品展示</p> <p>・様々な企画の実施</p>	<p>B</p>

青少年の居場所づくり	38. 夏休み学校外活動事業	<p>●地域の方との交流を通じて子どもたちに「世代間交流」や「同世代と一緒に、外で体を動かして遊ぶ楽しさ」を体験させることにより、子どもたちが地域の中での遊びを通じて生きる力を身につけ、また、地域全体で子どもを見守っていく環境を育てる。</p> <p>◇ステキな夏休み教室」を湯町公民館で実施（二日市小学校区対象）。</p> <p>・開催場所：湯町公民館</p> <p>期日：8月17、19、20、21の4日</p> <p>参加者：16名</p>	A
青少年の居場所づくり	39. 放課後子ども教室事業	<p>●放課後や週末に小学校の余裕教室等を使用して、地域の方々の参画を得て、子どもたちと共に勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組みを実施することにより、子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)づくりを図る。</p> <p>◇平成19年度から開始する事業。いずれも週2回で実施中。</p> <p>・天拝っ子アンビシャス広場（天拝小校区）</p> <p>・若葉・中原アンビシャス広場（二日市東小校区）</p>	A
青少年の居場所づくり	40. 通学合宿推進事業	<p>●たくましく豊かな心を育てる（自主性、協調性）、家庭教育を見直す、地域で子どもを育てる気運を高める。</p> <p>◇地域力の向上と子どもたちの成長を目的とする。</p> <p>光が丘区通学合宿</p> <p>・参加 13人</p> <p>ボランティア（延べ）161人</p> <p>山家区通学合宿</p> <p>・参加 21人</p> <p>ボランティア（延べ）180人</p>	A
青少年の居場所づくり	41. 筑紫野市子ども会育成会連絡協議会補助金	<p>●市内の子ども会の育成活動の推進と育成及び指導者の資質の向上に努め、もって子ども会の健全育成に資することを目的に設立された筑紫野市子ども会育成会連絡協議会を支援する。</p> <p>◇団体支援策として補助金495千円を交付した。</p> <p>筑紫地区子ども会育成会連絡協議会</p> <p>・役員会 期日：平成23年5月9日 会場：生涯学習センター</p> <p>内容：平成22年度事業、決算及び監査報告</p> <p>平成23年度事業計画、予算（案）等</p> <p>・研修会 期日：平成23年9月11日 会場：太宰府市立水城小学校</p> <p>内容：応急処置、軽スポーツ</p>	A
青少年指導者の確保、育成	42. 筑紫野市ジュニア・リーダーズ・クラブ連絡協議会補助金	<p>●ジュニア・リーダーの育成に取り組む団体を財政的に支援する。</p> <p>◇・レクリエーション講習会</p> <p>芸術・文化部門</p> <p>マーチングバンド・クラブ</p> <p>・体育・スポーツ部門</p> <p>ソフトテニス</p>	A
青少年指導者	43.	●青少年育成市民会議を通して、青少年の健全育成に資する団体	B

の確保、育成	筑紫野市青年団体連絡協議会補助金	とする。併せて、社会貢献活動を実施する団体とする。 ◇団体支援策として補助金30千円を交付した。	
青少年指導者の確保、育成	44. 筑紫野市青少年育成市民会議補助金	●青少年の健全育成に係る団体、機関の中心的役割を果たす活動を支援する。 ◇団体支援策として補助金200千円を交付した。 ・市民フォーラム：テーマ「絆 ～今考えること～」 参加者 103人 5中学校、3高校の代表によるパネルディスカッション ・青少年の健全育成に係る情報交換	A
青少年指導者の確保、育成	45. 子ども会リーダーズスクール	●子ども会の主体者としての自覚を促し、積極的に子ども会を担っていくリーダーの育成を図り、子ども会が円滑に運営される。 ◇新リーダーズスクール、春スクール（ニュージェネレーションスクール）、秋スクール（子ども会あそび広場）の実施 ・新リーダーズスクール（2月） 参加者160人 育成会62人 ・春スクール（ニュージェネレーションスクール）（6月） 参加者135人 ・秋スクール（子ども会あそび広場）（10月） 参加者100人	A
青少年指導者の確保、育成	46. 子ども会育成会指導者研修会事業	●子ども会活動を支援する育成会の役割とその支援のあり方を学ぶことにより子ども会育成会が円滑に運営される。 ◇・市主催指導者研修会 参加者 147人 ・福岡ブロック子ども会育成会指導者研修会 ・筑紫地区少年団体等指導者研修会 ・九州地区子ども会育成研究会議各種研修会の実施、参加	A
青少年指導者の確保、育成	47. 青少年指導員事業	●青少年の非行を防止し、健全な保護、育成を図るため筑紫野市青少年指導員を置く。 指導員数 50人 ◇ 青少年の非行を防止し、健全な保護、育成を図るための活動を行った。 小学校区別巡回・筑紫地区一斉パトロール ・役員会における情報交換 ・校区別主催事業：筑紫小フットベースボール大会、山家小一泊研修 ・研修会：教育講演 「非行少年の対応と更正保護」	A
環境浄化活動の推進	48. 筑紫野市青少年指導員会補助金	●青少年指導員の自主的活動を支援する。 ◇団体支援策として補助金90千円を交付した。	A
環境浄化活動の推進	49. 少年補導員会事業	●他市町の補導員会と連携協力し、必要な研修会を実施することにより、少年の非行を防止する。 ◇青少年の健全育成、非行防止のための事業を実施 ・毎月開催の定例会において情報交換	A

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・校区内危険箇所の巡回（実施回数 24回）</li> <li>・視察・研修：美祢社会復帰健康センター、北九州市少年サポートセンター（9月29日～9月30日）</li> </ul>	
悩み相談、思春期教育の充実	50. ヤングテレフォン相談事業	<p>●青少年自身や保護者の悩み相談を電話で応じ、その内容に応じたカウンセリングを行うことにより、青少年の非行防止と健全育成を図ることを目的とする。</p> <p>◇青少年自身や保護者の悩み相談を電話で応じ、その内容に応じたカウンセリングを行った。（件数 543回）</p> <p>PRカード配布、ポスター 小中学生（6月） 就学時健診（11月）</p>	B
施策の総合推進	51. 成人式事業	<p>●成人としての自覚を促すことにより、新成人が主体的に社会参加できるようにする。</p> <p>◇「成人としての自覚を促し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ます」ことを目的に式典を実施（実行委員会により）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期日：平成24年1月9日 実施</li> <li>・会場：筑紫野市文化会館</li> <li>・参加者：759人(出席率 71%)</li> <li>・記念品：シャープペン、ボールペン、カード入れ</li> <li>・対象者：1,075人</li> <li>・内容：記念式典、抽選会</li> </ul>	A
施策の総合推進	52. おやじ講座推進事業	<p>●青少年の健全育成が社会的に求められている今日、父親の子育てへのかかわりが課題となっている。そのため、父親及び子育てに関わる男性の学習機会等を提供する。</p> <p>◇1件申請 筑紫野南中学校「力こぶの会」</p>	C

### 3. 生涯学習・社会教育の推進

基本事業	事務事業	● 事業の意図	評価
		◇ 活動状況等	
学習ニーズに応じた学習機会の充実	53. 小地区公民館講座推進事業	<p>●小地区公民館における主催講座の開催を促し、学習支援の推進を図ることにより、市民ニーズに応じた学習機会が提供される。</p> <p>◇地域の活性化やまちづくりにつながる学習が行われた。</p> <p>講座内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教育： 5講座（子ども太鼓・お菓子作り）</li> <li>教養： 13講座（フラダンス・押し花・習字・ステンドグラス他）</li> <li>文化： 2講座（門松作り・ほうげんぎょう）</li> <li>実用： 8講座（パソコン・認知症サポーター養成・応急手当他）</li> <li>合計： 28講座</li> </ul> <p>※小地区公民館では、教育・実用・趣味等多岐にわたり、いろんな学習が行われている。地域の活性化、まちづくりにつながる学習効果は高いと思われる。</p>	A

<p>学習ニーズに応じた学習機会の充実</p>	<p>54. 学びをつなぐ講座</p>	<p>●人権尊重の明るいまちづくりのため、学習を通し人権問題の啓発を図ることにより、人権意識を持った市民を増やす。</p> <p>◇人権啓発、人権学習のための講座を行った。</p> <p>講座内容</p> <p>開講式講座「学びの意味・意義」 5月19日 19人</p> <p>館外学習 水巻町歴史資料館 「十字架の塔についての学習」 11月17日 16人</p> <p>講座 「近世の身分差別について～歌舞伎のことなど～」 6月16日 19人 「近世の身分差別について～身分のしくみ～」 7月21日 14人 「近世の身分差別について～被差別民の暮らし（生活①）～」 8月18日 15人 「近世の身分差別について～被差別民の暮らし（生活②）～」 9月15日 14人 「近世の身分差別について～幕藩体制の動揺と身分の固定化～」</p> <p>閉講式講座「まとめ」 12月15日 15人</p>	<p>A</p>
<p>学習ニーズに応じた学習機会の充実</p>	<p>55. ちくしの高年大学</p>	<p>●高齢者が豊かな経験を生かして社会参加を実践するための学習ができるとともに、受講生相互の親睦が深まっている。</p> <p>◇受受講生数 99名</p> <p>1. 教養講座 8回</p> <p>①生き方1回 題目：笑顔、元気、これぞ健康の秘訣 ②福祉1回 題目：人生備えあれば憂いなし ③生活1回 題目：注意一秒！怪我一生～高齢者の交通マナー ④伝統文化1回 題目：筑紫野市の伝統文化に触れよう～山家岩戸神楽～ ⑤健康1回 題目：健やかな心に、健康は宿る ⑥人権1回 題目：男女共同参画社会：現実とこれからの課題 ⑦学習実践発表会1回 ⑧作品展1回</p> <p>2. 専門講座13回</p> <p>①郷土史 20人 ②太極拳 21人 ③合唱 15人 ④絵画 18人 ⑤紙版画 9人 ⑥健康レクササイズ 16人</p> <p>3. クラブ活動8回 社会参加のための技術実習（学習及び実習）</p> <p>4. 世代間交流事業 夏休み期間中の小学生を対象とした「夏休み工作教室」 ・7月27日：筑紫南地区（筑紫南コミセン）111人</p>	<p>A</p>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 7月28日：二日市地区（二日市コミセン） 87人</li> <li>・ 7月29日：山口地区（山口コミセン） 61人</li> <li>・ 8月 1日：筑紫地区（筑紫多目的集会施設） 61人</li> <li>・ 8月 2日：御笠地区（御笠コミセン） 53人</li> <li>・ 8月 4日：山家地区（山家コミセン） 55人 合計441人</li> </ul> <p>②春休み期間中の小学生を対象とした「春休み工作教室」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3月 筑紫東小学校学童保育所 41人</li> </ul> <p>5. 学習成果発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生涯学習フェスティバルでの学習発表及び子どもたちの体験学習の場の設置 10月29～30日</li> <li>・ 学習実践発表会 2月7日</li> <li>・ 作品展 2月7～20日</li> </ul> <p>6. 社会参加活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 万葉の里ウォーキングの支援 11月13日 （3Kmファミリーコース）</li> <li>・ 阿志岐小フェスタでの工作支援 10月23日</li> </ul> <p>研究課程としてゼミ講座「チェンジイせんばあ倶楽部」による歴史散策活動、家庭菜園支援活動及び高齢者支援活動</p>	
学習ニーズに応じた学習機会の充実	56. 視聴覚教育・視聴覚ライブラリー事業	<p>●生涯学習センターの視聴覚機材・教材を活用してもらうことにより、市民のニーズに応じた学習ができるようにする。</p> <p>◇教材一覧を各機関等へ知らせることにより貸し出しが拡大、HPにVT教材等の一覧を掲載し、教材の検索ができるようにした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 野外放送機器 29回</li> <li>・ スクリーン 29回</li> <li>・ パネル 15回</li> <li>・ ビデオプロジェクター館外貸出し 36回</li> <li>・ ビデオテープ館内、館外貸出し本数 620本</li> </ul>	B
学習ニーズに応じた学習機会の充実	57. いきいき人権ライフセミナー	<p>●身近にある差別や人権問題をテーマとした学習の機会を提供し、人権問題の啓発を図ることにより、人権意識を持った市民を増やす。</p> <p>◇子どもに焦点を当て、様々な角度から人権問題を学習した。</p> <p>学習内容（4回）</p> <p>①7月5日（火） 参加：10人</p> <p>題目 今、キモチを大切にしていますか？～学校における人権教育について考える～</p> <p>講師：石橋博史（福岡県福岡教育事務所人権・同和教育室）</p> <p>②7月12日（火） 参加：8人</p> <p>題目 小学校における人権教育～こどもとおとなの人権教育に対する共通認識のために～</p> <p>講師：松本忠（筑紫野市二日市北小学校教諭）</p> <p>③7月19日（火） 参加：5人</p>	B

		<p>題目 中学校における人権教育～こどもとおとなの人権教育に対する共通認識のために～</p> <p>講師：岩切優子(筑紫野市二日市中学校教諭)</p> <p>④7月26日(火) 参加：6人</p> <p>題目 こどもとおとなのキモチをつなごう(まとめ)～日常生活で育むチカラ～</p> <p>講師：白水昭道(筑紫野市教育委員会学校教育課教科促進指導員)</p>	
学習ニーズに応じた学習機会の充実	58. まちをみつめよう学級	<p>●身近な生活課題を学習し「まちの政治」を正しく理解し、明るい選挙の推進を図るとともに、地域のリーダーを育成する。</p> <p>◇選挙や防犯防災、街づくりのための学習を行った。</p> <p>学習内容</p> <p>選挙管理委員会事務局との共催事業</p> <p>今年度のテーマ：教育・福祉について 受講生：25人</p> <p>○年間実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5月18日(水) 参加25人 題目：開級式 ～年間学習計画他～ 講師：森田陽子(湯町区長)</li> <li>・6月15日(水) 参加24人 題目：選挙について 講師：森敬(筑紫野市選挙管理委員会事務局)</li> <li>・7月20日(水) 参加25人 題目：地域コミュニティづくりの現状と課題 講師：山崎安則(筑紫女学園大学教授)</li> <li>・8月17日(水) 参加25人 題目：市職員が見た被災地の様子 講師：市職員3人</li> <li>・9月21日(水) 参加22人 題目：少年補導員の活動について 講師：徳永早巳(少年補導員会会長)</li> <li>・10月19日(水) 参加25人 題目：ふくおか県政出前講座～地域から変えよう防犯対策～ 講師：十時裕(福岡県安全・安心まちづくりアドバイザー)</li> <li>・11月16日(水) 参加20人 題目：館外学習 場所：カミーリヤ、博多織献上館にしむら他</li> <li>・11月28日(月) 参加15人 題目：筑紫地区政治学級生社会見学 場所：九州電力、新小倉発電所、北九州空港</li> <li>・12月21日(水) 参加17人 題目：御笠青色パトロール隊の活動について 講師：平嶋正一(御笠青色パトロール隊副会長)</li> <li>・1月18日(水) 参加25人</li> </ul>	B

		<p>題目：人権を大切にすまちづくり 講師：野村豊治（筑紫野市教育委員会教務課地域活動指導員）</p> <p>・ 1月23日（水） 参加15人</p> <p>題目：筑紫地区政治学級リーダー研修会 講師：斉藤文男（九州大学名誉教授）</p> <p>・ 2月15日（水） 参加21人</p> <p>題目：館外学習 場所：くまもと工芸会館他</p> <p>・ 3月21日（水） 参加18人</p> <p>題目：閉級式 ～年間反省会～</p>																																																																									
学習ニーズに応じた学習機会の充実	59. コミュニティ主催事業	<p>●地域の豊かな学習資源を生かした学習機会の提供をはかり、学習の成果を活かして、地域やコミュニティ施設における生涯学習活動や地域活動に参画する。</p> <p>◇郷土の歴史や健康、料理など地域や生活に密着した講座を行なった。</p> <p>講座内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>講座数</th> <th>参加者数</th> <th>延人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>二日市コミセン</td> <td>6講座</td> <td>150人</td> <td>1,059人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>講座名</td> <td colspan="2">手話教室、夏休み家族講座、健康教室など</td> </tr> <tr> <td>山口コミセン</td> <td>7講座</td> <td>189人</td> <td>1,090人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>講座名</td> <td colspan="2">山口歴史探訪、夏休み子ども自然教室などなど</td> </tr> <tr> <td>御笠コミセン</td> <td>12講座</td> <td>333人</td> <td>1,351人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>12事業</td> <td>297人</td> <td>336人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>講座名</td> <td colspan="2">季節の保存食、学んでみよう！介護など</td> </tr> <tr> <td>山家コミセン</td> <td>13講座</td> <td>435人</td> <td>2,386人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>講座名</td> <td colspan="2">けんこうクラブ、地産地消の料理講座など</td> </tr> <tr> <td>筑紫多目的集会</td> <td>11講座</td> <td>525人</td> <td>1,861人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>講座名</td> <td colspan="2">パソコン講座、ちくしの森歴史探検隊など</td> </tr> <tr> <td>筑紫南コミセン</td> <td>11講座</td> <td>1,748人</td> <td>1,748人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>講座名</td> <td colspan="2">朗読講座、親子でエンジョイなど</td> </tr> <tr> <td>合同主催講座</td> <td>1講座</td> <td>60人</td> <td>60人</td> </tr> <tr> <td>8月28日</td> <td>講座名</td> <td colspan="2">チャレンジ・ザ・ドミノ</td> </tr> <tr> <td>6館合計</td> <td>61講座</td> <td>3,440人</td> <td>9,555人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>12事業</td> <td>297人</td> <td>297人</td> </tr> </tbody> </table>	施設名	講座数	参加者数	延人数	二日市コミセン	6講座	150人	1,059人		講座名	手話教室、夏休み家族講座、健康教室など		山口コミセン	7講座	189人	1,090人		講座名	山口歴史探訪、夏休み子ども自然教室などなど		御笠コミセン	12講座	333人	1,351人		12事業	297人	336人		講座名	季節の保存食、学んでみよう！介護など		山家コミセン	13講座	435人	2,386人		講座名	けんこうクラブ、地産地消の料理講座など		筑紫多目的集会	11講座	525人	1,861人		講座名	パソコン講座、ちくしの森歴史探検隊など		筑紫南コミセン	11講座	1,748人	1,748人		講座名	朗読講座、親子でエンジョイなど		合同主催講座	1講座	60人	60人	8月28日	講座名	チャレンジ・ザ・ドミノ		6館合計	61講座	3,440人	9,555人		12事業	297人	297人	A
施設名	講座数	参加者数	延人数																																																																								
二日市コミセン	6講座	150人	1,059人																																																																								
	講座名	手話教室、夏休み家族講座、健康教室など																																																																									
山口コミセン	7講座	189人	1,090人																																																																								
	講座名	山口歴史探訪、夏休み子ども自然教室などなど																																																																									
御笠コミセン	12講座	333人	1,351人																																																																								
	12事業	297人	336人																																																																								
	講座名	季節の保存食、学んでみよう！介護など																																																																									
山家コミセン	13講座	435人	2,386人																																																																								
	講座名	けんこうクラブ、地産地消の料理講座など																																																																									
筑紫多目的集会	11講座	525人	1,861人																																																																								
	講座名	パソコン講座、ちくしの森歴史探検隊など																																																																									
筑紫南コミセン	11講座	1,748人	1,748人																																																																								
	講座名	朗読講座、親子でエンジョイなど																																																																									
合同主催講座	1講座	60人	60人																																																																								
8月28日	講座名	チャレンジ・ザ・ドミノ																																																																									
6館合計	61講座	3,440人	9,555人																																																																								
	12事業	297人	297人																																																																								
学習ニーズに応じた学習機会の充実	60. ちくしの文化講座	<p>●市民の学習ニーズに応じた学習の機会が提供され、市民の学習活動が行われている。</p> <p>◇市民の様々なニーズに応じた学習を提供した。</p> <p>講座内容</p> <p>①趣味教養講座 438人(定員725人)延4,613人</p> <p>・ 定期講座 : 34講座</p> <p>・ 1日体験講座 : 9講座</p> <p>(ジュニア講座・音楽講座・暮らし実用講座・手芸工芸講座・外国語講座・文学講座・歴史講座など)</p>	A																																																																								

		<p>②料理講座 24 講座 288人(定員564人) 延 559人</p> <p>③パソコン講座 31 講座 284人(定員501人) 延1,239人</p> <p>④チャリティーJazz コンサート in ちくしの 参加206人(定員300人)</p>	
学習ニーズに応じた学習機会の充実	61. 「つくし紫」文化塾	<p>●「夢むらさきクロスロード400」記念事業の一環として、筑紫野市に縁のある杉山一族をテーマに学習することで、郷土への関心を高める。 ※筑紫野市文化会館との共同事業</p> <p>①9/4(日) 杉山家5代と筑紫野 来場者279人</p> <p>②10/8(土) 映画に描かれた夢野久作の世界 来場者191人</p> <p>③11/12(土) 杉山家の人々～龍丸の奇跡～ 来場者232人</p>	A
学習ニーズに応じた学習機会の充実	62. 生活学校連絡会(補助金)	<p>●生活学校相互の連絡をはじめ生活学校運営の情報交換を行い消費生活の向上を図る。</p> <p>◇各生活学校の運営や活動を協議し消費生活の向上に取り組む運動を今後も継続していく。</p> <p>環境・教育・福祉・くらし等の諸問題についての取組みを行っていく。</p> <p>①筑婦生活学校の主な活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境問題の学習</li> <li>・廃油を利用しての石鹼作り</li> <li>・天拝山ロードレースの支援</li> <li>・食の安全性についての学習</li> <li>・植樹活動への参加</li> <li>・古紙回収</li> </ul> <p>※みかさ生活学校については、22年度から廃校</p>	B
学習ニーズに応じた学習機会の充実	63. 女性大学講座(補助金)	<p>●趣味的なものから学術的なものまで多面にわたる講座を開催することにより女性の地位向上を図る。</p> <p>◇女性の地位向上に向け、様々な講座が実施された。</p> <p>講座内容</p> <p>① 毎週火曜日 ゴルフ・洋裁教室</p> <p>② 毎週水曜日 洋裁・リフォーム教室</p> <p>③ 第1・2・3月曜日 社交ダンス・ハワイアンフラダンス 実用書道・卓球教室1、2</p> <p>④ 第1・2・3火曜日 日舞教室</p> <p>⑤ 第1・2・3水曜日 民謡・三味線・カラオケ・太極拳・卓球教室</p> <p>⑥ 第1・2・3木曜日 太極拳・健康教室・謡曲教室</p> <p>⑦ 第1・2・3金曜日 日舞教室</p> <p>⑧ 第2・3・4金曜日 歌謡教室</p> <p>⑨ 第1・2・3土曜日 詩吟教室</p> <p>⑩ 第1・3火曜日 生花教室</p> <p>⑪ 第1・3木曜日 生花教室・茶道教室</p> <p>⑫ 第1・3金曜日 かな書道・歌謡教室</p>	A

		<p>⑬ 第2・4月曜日 パッチワーク教室</p> <p>⑭ 第2・4火曜日 コーラス</p> <p>⑮ 第2・4水曜日 トールペイント</p> <p>⑯ 第2・4木曜日 夜間ペン・かな書道・トールペイント</p> <p>⑰ 第2・4金曜日 ペン習字1、2・茶道・洋画・水墨画・手編</p> <p>⑱ 第2・4土曜日 書道入門</p> <p>⑲ 第2水曜日 おしゃれクッキング、歌謡曲</p> <p>⑳ 第4水曜日 男性料理専科</p>	
学習ニーズに応じた学習機会の充実	64. 生涯学習センター自主学習グループ連絡会補助事業	<p>●自主学習グループの成果を持ち寄り、市民に公開・交流を行う。</p> <p>◇活動内容</p> <p>①自主学習グループまつり（生涯学習フェスティバルに参画）実行委員会を結成し5回開催（反省会を含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ステージ発表34グループ</li> <li>・作品展示 13グループ</li> <li>・バザー出展 5グループ</li> <li>・グループ紹介</li> </ul> <p>②館外学習（128人） 下関市・長門市 5月31日</p> <p>③館内学習（25人） 認知症についての学習会 2月26日</p> <p>④総会 1回 ・四役会 10回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理事会11回</li> <li>代表者会 7回</li> </ul>	A
学習ニーズに応じた学習機会の充実	65. 筑紫南コミュニティセンター図書室運営	<p>●図書館の事業を活用し、学習活動や地域住民の交流により地域づくりが展開される。</p> <p>◇市民協働事業として、平成20年度から「はらっぱの会」に委託し、図書館の運営や地域づくり・人づくりのための事業を行なった。</p> <p>活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館の開館日数 245日</li> <li>・図書館利用者数 17,10人</li> <li>・図書貸し出し冊数 23,417冊</li> <li>・図書館主催講座 24回</li> </ul> <p>講座内容：布で作る絵本とおもちゃ作り教室など</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・折り紙教室 47回</li> <li>・すこやか広場（育児相談） 2回</li> <li>・講演会 2回</li> <li>・読み聞かせボランティア養成講座 8回</li> <li>・出張おはなし会 16回</li> </ul>	A
家庭・地域の教育力を高める教育活動の充実	66. 生涯学習ボランティア事業	<p>●市民がボランティアバンク事業を活用し、地域づくりや学習活動が展開されている。</p> <p>◇市民協働事業として、平成18年度から「筑紫野市ボランティアバンクの会」に委託し、様々な活動を行なった。</p> <p>活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアの登録、派遣事業（学習相談・コーディネート）</li> <li>・ボランティアバンク情報の提供、発信（HP・広報誌の発行など）</li> <li>・ボランティア活動の支援</li> <li>・地域活性化事業「このゆびとまれ」 場所 市内各コミセン</li> </ul>	A

		<p>・ボランティア研修会・学習会 年3回</p> <p>①7月30日 参加24人</p> <p>②9月 3日 参加24人</p> <p>③1月28日 参加46人</p> <p>平成23年度実績</p> <p>・ボランティア登録者 1,534人</p> <p>個人 1,038人</p> <p>団体 39グループ(496人)</p> <p>・ボランティア派遣件数 274件</p> <p>・ボランティア派遣人数 延4,608人</p> <p>・市民利用者数 延 79,282人</p>	
家庭・地域の教育力を高める教育活動の充実	67. 生涯学習フェスティバル	<p>●学習グループが日頃の学習の成果を発表することができ、多くの市民の学習意識が向上する。</p> <p>◇様々な機関団体や学習グループが集い、連携しながら、学習成果の発表の場、交流の場として、作品展示、ステージ発表、バザーなどを行った。また、人権、男女共同参画など行政啓発活動も行った。</p> <p>☆日 時 平成23年10月29～30日(土・日曜日)</p> <p>☆参加人数 約5,000人</p> <p>・参加団体(人数)151団体 1,800人</p> <p>・観覧者数 2日延べ 5,000人</p> <p>①実行委員会 4回</p> <p>②企画会議 3回</p> <p>③各担当会議 14回</p> <p>内訳 イベント担当会議 4回</p> <p>ステージ担当会議 3回</p> <p>会場用具担当会議 4回</p> <p>広報受付担当会議 3回</p>	B
家庭・地域の教育力を高める教育活動の充実	68. 市民大学講座	<p>●市民の学習機会とニーズに応え生涯学習の推進に努めることにより、家庭や地域の教育力が高まる。</p> <p>◇学習内容</p> <p>・第1回 6月6日(月) 参加85人</p> <p>テーマ: 港の再発見</p> <p>講師: 江頭和彦(博多ふ頭(株)取締役 博多夢松原の会理事)</p> <p>・第2回 7月4日(月) 参加90人</p> <p>テーマ: 東日本大震災と復興日本の政治</p> <p>講師: 藪野祐三(九州大学名誉教授)</p> <p>・第3回 8月1日(月) 参加75人</p> <p>テーマ: 郷土の先人の生き方(知恵・志)に学ぶ</p> <p>講師: 高嶋正武(前 筑紫野市教育長)</p> <p>・第4回 9月5日(月) 参加63人</p> <p>テーマ: 昔話の癒しの力に学ぶ</p>	A

		<p>講 師：飯田栄彦（作家）</p> <p>・第5回 10月3日（月） 参加71人          テーマ：最近のガン情報～自分の問題として考えてみましょう～          講 師：宮原典子（保健師 NPO法人ハッピーマンマ理事）</p> <p>・第6回 11月7日（月） 参加65人          テーマ：憲法 この一年          講 師：横田耕一（九州大学名誉教授）</p> <p>・第7回 12月5日（月） 参加68人          テーマ：日本と世界 ～2011年を振り返って～          講 師：安武秀明（西日本新聞社報道センター長）</p> <p>・第8回 3月5日（月） 参加65人          テーマ：夢のクララ          講 師：狩野啓子（久留米大学教授）</p>	
家庭・地域の教育力を高める教育活動の充実	69. 家庭教育学級	<p>●『子どもの人権を守り、健全な成長発達に責任を果たせる親となる』ことを目的とする。家庭教育学級間の情報交流を行い、合同企画事業を実施することにより、各家庭教育学級における活発な学習活動により家庭の教育力の向上を図る。</p> <p>◇より良い子育てを求めながら、親としても教育力を高めるための学習を行った。</p> <p>学習内容          学級数 17学級（小中学校16、夜の学級1）          学級生数 469人</p> <p>合同開講式          日 時：5月27日（金）10:00～ 参加者：144人          講 演：子どものあるがままを受けとめて          ～ピュアハートからの贈り物～          講 師：國友 美恵子（音楽ランド代表）</p> <p>・合同レクリエーション          日 時：6月17日（金）9:30～ 参加者：202人</p> <p>・合同研修会          日 時：11月17日（木）10:00～ 参加者：287人          1、全体会講演：家庭ってこんなに大事！          ～ホームレス支援から見えるもの～          講師：森松 長生 NPO法人北九州ホームレス支援機構常務理事</p> <p>2、分科会          ①ゴスペルに挑戦！～歌で心を伝える素晴らしさを実感しよう～          講師：広瀬 了子          ②健康な心と体を作ろう ～骨盤ヨガ～          講師：井上 美智子          ③子どもの心に届け！あったかい言の葉 ～自由懇談～          講師：原口 重利</p> <p>・各学級での学習活動 4月 学級生募集 5月 開講式 6月～1月</p>	B

		<p>各々学級のプログラムに沿って学習会 2月閉講式</p> <p>各学級学習会 計123回 参加者総数 2908人</p> <p>・家庭教育学級連絡会 17学級より2～6名の役員で構成 71名 毎月1回実施 各学級</p> <p>間の情報交流を行い、活発な学習活動の促進を図ったり、研修会を実施し家庭教育学級の充実に取り組んでいる</p> <p>・文集「あゆみ」作成</p>	
家庭・地域の コミュニティ 力を高める教 育活動の充実	70. いきいき元気人 養成講座事業	<p>●地域コミュニティ主導のいきいきと輝く街づくりを実践する 人材の育成や資質の向上を図る。</p> <p>◇リーダー課程の受講資格取得やサポーターの資格を得るための活動 を行なった。</p> <p>活動内容</p> <p>(1)受講生数 街づくりサポーター課程者 7人 街づくりサポーター更新課程者 13人</p> <p>(2)学習会 15日間</p> <p>①講義 5回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりの実践例に学ぶ(2回)</li> <li>・筑紫野市のまちづくりを知ろう(1回)</li> <li>・プログラム作成の基礎知識(1回)</li> <li>・まとめ(1回)</li> </ul> <p>②演習 6回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動プログラム作成(4回)</li> <li>・グループワーク(2回)</li> </ul> <p>③実習 3回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アイスブレイキングの手法を学ぶ(1回)</li> <li>・プログラム実習・実践(2回)</li> </ul> <p>④先進地視察 1回 場所:佐賀県鹿島市嘉瀬公民館 参加7人 佐賀県NPOサポートセンター 「フロンティア」</p> <p>⑤講演 1回 内容:まちづくりを目標としたサポーターの役割 参加16人</p> <p>(3)社会参加活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習フェスティバルでプログラムの企画、運営「文字さがし ラリー」</li> </ul> <p>※講座運営を前年度受講生に委ねる。</p>	A
文化財・文化 芸術活動の充 実	71. ちくしの子ども 劇場補助金	<p>●地域の中で子どもたちがいきいきとした「子ども時代」を過 すための環境づくりを目指す。また、子どもたちに芸術に親しむ 心と感受性を育てるとともに、芸術文化活動への参加意欲を喚起 する。</p> <p>◇子どもの諸活動に関する事業(子どもキャンプ等)、子どもの ための優れた舞台芸術関連事業(10作品)、子どもの表現活動 (ドラマスクール等)、子育て支援関連事業(子育て講演会)な</p>	A

		<p>どを通して子ども達が生き生きと活動できる環境を提供することができた。</p>	
文化財・文化芸術活動の充実	72. 文化団体連合会補助事業	<p>●連合会への加盟団体が増加し、市民の芸術文化事業が盛んになること。連合会の事業が継続され、多様な事業がおこなわれること。安定した運営がおこなわれること。</p> <p>◇美術展、研修を実施すると共に、県文化団体連合会福岡Ⅱブロック in 那珂川町に参加。</p>	B
文化財・文化芸術活動の充実	73. 史跡保存管理事業	<p>●文化財の保存・管理を適正に行う。</p> <p>◇阿志岐山城跡が国指定史跡になったことを記念しシンポジウム・現地調査を行った。</p> <p>内史跡地の草刈業務委託等を行い景観の維持に努めた。また、開発に伴う文化財の問い合わせに対応するためデータの更新を行った。</p>	B
文化財・文化芸術活動の充実	74. 展示教育支援事業	<p>●地域への理解を深め、市民の自治能力の向上を図る。</p> <p>①市民に対し、学習意欲の喚起を促し、地域学習の推進を図る。</p> <p>②市の施策・事業や市民活動に対し、資料提供、助言を行なうと伴にこれを支援する。</p> <p>③学校教育に対し、資料提供、並びに教育支援を行なう。</p> <p>◇企画展/4事業          市民展/ジュニア学芸員連動事業(年間)          学芸員関係/3事業          講座等          ・筑紫野織りの会(第1・3金曜日)          ・回想法(随時) /          ・歴史講座(10月16日・10月23日)          ・市民文化ゼミナール(1月28日・2月25日・3月24日)          支援事業/10事業          共同事業/6事業 学芸員派遣/30件          資料貸出/441点 資料閲覧/248点          ・市民協働事業・共同事業          企画展          ・武蔵寺と二日市温泉(4月23日～7月3日)          ・「古代の駅と官道」(7月23日～9月19日)          ・「長崎街道と400周年山家宿」(10月8日～11月27日)          ・昔の暮らし(12月23日～4月1日)</p>	A
文化財・文化芸術活動の充実	75. 資料収集保管事業	<p>●資料を収集し、適切に保存・管理することにより、活用できる状態にする。</p> <p>◇ガス燻蒸を行なっているが、九州国立博物館と連携してIPM導入について探った。</p>	B
文化財・文化芸術活動の充実	76. ちくしの人形劇まつり実行委員会補助金	<p>●芸術作品の創作、人形劇の鑑賞を通して、ゆとりある心豊かな青少年・少女を育てる。</p> <p>◇20年度より会場を文化会館に移した。また、実行委員会内に広報担当と企画担当を設け、委員に企画・運営を担ってもらう。</p>	A

		その結果、多数の観客に恵まれ大成功であった。	
文化財・文化 芸術活動の充 実	77. 山家岩戸神楽保 存会補助金	●市指定無形民俗文化財「山家岩戸神楽」を伝承保存していくた めの保存会の活動が円滑に行われる。 ◇10月17日神楽奉納 11月3日山家地区文化祭出演 6月～3月山家小学校「神楽クラブ」指導	A
文化財・文化 芸術活動の充 実	78. 市指定文化財（長 者の藤） 管理補助金	●観光資源でもある市指定天然記念物「長者の藤」の育成保護が 行える。 ◇4月 消毒（アブラムシ、毛虫、セン虫等の駆除） 5月 花の房切り（枯れた花すべて）、廃棄処理、消毒（毛虫等駆除）。 2月 藤棚竹組替え（棚竹、竹を結ぶ縄の交換）、施肥、徒長づる・枯 枝と苔等の除去と手入れ、結界棚等の交換、古竹廃棄処理、消毒（ア ブラムシ、毛虫、セン虫等の駆除） 3月 消毒（アブラムシ、毛虫、セン虫等の駆除）	B
国際交流の推 進	79. 国際交流事業	●国際感覚（市民一人ひとりが豊かな人権感覚を背景に、文化や 価値観、さらに環境を共有し、お互いの違いを敬い理解と共生の 意識を持つこと）を持った市民を増やすとともに、住みやすいと 思う外国人を増やす。 ◇国際化行動計画に基づいて関係各課の進捗状況調査を実施した。状況 としては財政再建計画により新規事業として、実施に至ってない課が殆 どである。行動計画を実施しようとするれば予算とともに人員の配置など が必要であり、今の状況では実施は難しいと思われる。	B
社会教育施設 の充実	80. 小地区公民館設 置補助	●小地区公民館が地域のまちづくりや生涯学習などの活動拠点 施設となっている。 ◇地域における社会教育活動の振興を図るため、区が行なう小地区公民 館の新築、改築及び修繕等の費用の補助を行なう。 平成23年度 ・新築及び改築 0件 ・増築 1件 8,109千円（針摺東） ・用地購入 0件 ・修繕 23件 7,736千円	A
社会教育施設 の充実	81. 図書館運営事業	●すべての市民、在勤、通学者、福岡都市圏住民が本に親しむ。 ◇平成23年度図書館運営事業指数 ・貸出総冊数 797,285冊 ・利用者総数 152,370人 講座等 子どもの読書推進公演会1回、絵本講座2回、子ども読書講座3回、 各種講座・研修等6回、ブックスタート事業12回 移動図書館事業：39ステーション巡回	B
社会教育施設 の充実	82. 図書・視聴覚資料	●文化と教養が高まる。 図書資料等購入により読者の要望が満たされる。	

	購入事業	<p>◇平成23年度図書・視聴覚購入事業 図書等購入。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図書、視聴覚資料 19,499,168円</li> <li>・ 新聞、雑誌等 3,514,471円</li> </ul> <p>書誌情報作成委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 書誌、視聴覚情報作成委託料 2,345,783円</li> </ul>	B
生涯学習情報の共有化と充実	83. 生涯学習情報提供事業	<p>●生涯学習施設や学習に関する情報を得ることができる。</p> <p>◇「広報ちくしの」生涯学習情報 もやい 「広報ちくしの」中に2ページ掲載、月2回年間24回発行</p> <p>◇生涯学習情報誌もやい「学習情報号」 年度末に市内の公共施設に年1回配布（24ページ、7千部）</p> <p>◇生涯学習課関連ホームページ アクセス回数13,781回</p>	B
施策の総合推進	84. 筑紫地区社会教育振興協議会（公民館部会）	<p>●筑紫地区における公民館事業等の現状や課題などの情報交換を行い、公民館活動が活性化している。</p> <p>◇社会教育公民館事業についての学習会研修会や4市1町での事業の情報交換会などを行なった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公民館部会（3回）、研修会・筑紫地区公民館事業担当者等研修会 6月 太宰府市 参加者：137人（内 筑紫野市28人）</li> <li>・ 福岡県公民館実践交流会 2月 春日市 参加者：4人</li> </ul> <p>福岡地区公民館研修会 2月 志免町 参加者：19人</p>	B
施策の総合推進	85. 小地区公民館連絡協議会補助事業	<p>●市内の各小地区公民館活動を充実させることにより、市民が学習活動、地域活動やボランティア活動に積極的に参加できるようになる。</p> <p>◇活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総会・五役会・理事会 回数（総会1回・五役会5回・理事会5回）</li> <li>・ 小地区公民館新任館長・主事等研修会 日時：6月11日 参加者：95人</li> <li>・ 福岡県公民館大会 日時：8月4日 場所：行橋市 参加者：18人</li> <li>・ 筑紫野市小公連・防犯連推進大会 日時：9月10日 参加者：245人</li> <li>・ 九州地区公民館研究大会 日時：10月20～21日 場所：佐賀県佐賀市 参加者：20人</li> <li>・ 地区別視察研修会 <ul style="list-style-type: none"> <li>山家地区 日時：1月28日 参加者54人</li> <li>筑紫地区 日時：1月28日 参加者43人</li> <li>山口地区 日時：1月28日 参加者33人</li> <li>御笠地区 日時：2月12日 参加者44人</li> </ul> </li> </ul>	A

		<p>二日市地区 日時：2月19日 参加者63人</p> <p>・福岡地区公民館研修会</p> <p>日時：2月18日 場所：志免町 参加者：19人</p> <p>・「小地区公民館の手引き」改定案承認（総会）、各小地区公民館に配布</p>	
施策の総合推進	86. 小地区公民館主事設置補助事業	<p>●地域における社会教育活動の振興を図るため、公民館主事を設置することで、生涯学習活動・地域活動が活性化し公民館が地域の交流の場や地域活動の拠点になる。</p> <p>◇地域における社会教育活動の振興を図るため、小地区公民館主事の設置を促進することを目的する。</p> <p>(主事 88人)</p> <p>補助対象者数 86人</p> <p>補助金額 補助対象主事数</p> <p>24,000円 → 36人</p> <p>36,000円 → 50人</p>	B
施策の総合推進	87. 市立学校PTA協議会補助金	<p>●各学校とPTAとの連携を深めることにより、児童・生徒の健全な育成と保護者・教職員の資質向及び教育の振興を図る。</p> <p>◇支援策として補助金432千円を交付した。(27千円×16校)</p> <p>協議会の活動内容</p> <p>広報研修会、委員合同研修会、市長・教育委員会・校長・合同懇談会、スポーツ研修会、人権問題研修会</p>	A
施策の総合推進	88. 市婦人会補助金	<p>●女性の社会参加が促され、社会教育団体として活動を行い、地域に貢献している。</p> <p>◇女性の地位向上と社会参加をめざし、各機関団体と協力し、地域の福祉活動にも貢献した。 会員数570人</p> <p>・女性大学（婦人会主催）40学級</p> <p>・市民大学（委託事業） 8講座</p> <p>・女性問題講座 6講座</p> <p>青少年支援事業 5学級</p> <p>(小学生書道(A)(B)(C)・絵画・そろばん教室)</p> <p>・子育て支援事業 1学級（楽しくクッキング教室）</p> <p>・生活学校 7回</p> <p>・婦人会同和教育推進</p> <p>講座、研修会等に17回出席</p> <p>・消費者友の会 固形せっけんづくり</p> <p>・生涯学習フェスティバルに出店、展示、ステージ発表</p> <p>・古紙回収活動 6回 3,960kg</p>	A
施策の総合推進	89. 各地区婦人会補助金	<p>●女性の社会参加が促され、社会教育団体として活動を行い、地域に貢献している。</p> <p>◇二日市婦人会</p> <p>・人権・環境・福祉問題の学習</p> <p>・環境活動（古紙回収、固形石鹸づくり）</p>	B

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体育祭、地域文化祭、敬老会などの地域での活動</li> </ul> ◇御笠コミュニティ女性会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 7月20日 館外視察研修会</li> <li>・ 9月26日 クッキング教室</li> <li>・ 10月9日 御笠地区市民体育祭 受付、接待、トイレの見回り清掃、総踊りを担当</li> <li>・ 11月12～13日 御笠地区市民体育祭 体験コーナー担当 展示、学習活動の紹介</li> <li>・ 2月25日 男女共同参画推進学習会</li> </ul>	
施策の総合推進	90. 生涯学習推進事業（嘱託職員）	●市民の協働による地域づくり、地域の教育力向上 ◇生涯学習・社会教育事業推進のため地域活動指導員および社会教育指導員を配置 ①社会教育指導員 11人 生涯学習課 総務担当 2人 青少年担当 2人 推進担当 6人 生涯学習センター 1人 ②地域活動指導員 2人	A

#### 4. スポーツ・レクリエーションの推進

基本事業	事務事業	● 事業の意図	評価
		◇ 活動状況等	
スポーツ施設の充実	91. 中学校ナイター施設運営事業	●ナイター設備のある筑紫野中学校、筑山中学校の2校のグラウンドを夜間開放することにより、スポーツの場の提供と、生涯スポーツの振興を図る。 ◇利用者数（平成23年度） 利用者数：2,452人 （内訳） ・筑紫野中：1,892人 ・筑山中：560人	B
スポーツ施設の充実	92. 小中学校開放体育施設運営事業	●小中学校体育施設を社会体育施設として開放し、各種スポーツの場の提供と、各種スポーツ団体及びグループの交流を促し、生涯スポーツの振興を図る。 ◇・小中学校16校の開放を行った。 ・ 毎年1回学校開放運営委員会を開催し、定期団体の利用調整を行った。 ・ 定期団体以外の利用者の利用調整の実施	B
スポーツ施設の充実	93. 小学校プール市民開放事業	●多くの市民がプールを利用し、市民の体力向上と水泳の振興が図られる。 ◇利用可能プール：市内全小学校 11校 利用期間：夏期休暇期間（7月21日～8月12日） 20日間 利用時間：10時～17時（12時～13時は中断）	A

		利用者数： 子ども21,149人、大人1,042人、計22,191人	
スポーツ施設の充実	94. 農業者トレーニングセンター運営事業	●スポーツの楽しさ、健康の増進等を図るため、多くの市民が利用できるような適切な施設の提供をするとともに、講習会及び教室、イベントを開催する。 ◇平成23年度定期利用登録団体数：42団体 ・全体利用者数 79,221人 内個人利用者数 14,908人 ・にここヘルシー教室 ・サマーチャレンジクラブ ・トレーニングルーム初回講習会 以上の教室開催やその他学校・地域からの要請に対し職員の派遣や講座等実施	B
年齢や体力に応じたスポーツの振興	95. 市体育協会補助金	●体育協会を支援し、協会に加入する様々なスポーツ団体の活動を促進させることで、市民が年齢や体力に応じたスポーツに関わることが出来る環境づくりを推進し、スポーツの振興を図る。 ◇平成23年度加盟団体数： 21団体＋スポーツ少年団 平成23年度加盟人数： 5,262人 定期的に執行部会、理事会、評議員会及び専門委員会を開催 主催事業として、「宝満つばきマラソン大会（延1,500人）」・体協研修会（雪のため中止）・少年スポーツ指導者研修会（59名）等を実施している。	A
年齢や体力に応じたスポーツの振興	96. 生涯スポーツ振興事業	●生涯スポーツとして各種のスポーツ教室等を開催し、自分にあったスポーツを日常生活の中に取り入れる環境づくりをするため、委託事業として実施した。 ◇平成23年度 教室としては、ソフトテニス初心者（6人）・初心者弓道（9人）・1日テニス（41人）・サッカースクール（4,500人）・楽しいソフトボール（42人）・体操初心者教室等が実施された。また、大会は、宝満つばきマラソン大会（延1,500人）及び剣道大会（538人）の2大会が開催された。	B
幼児・児童・生徒のスポーツ機会の充実	97. 学校週5日制推進事業	●子どもたちの居場所づくりとして、市内小学校11校のグラウンド及び体育館を毎週土曜日の午前中開放している。 ◇体育館・運動場開放延べ日数：422日 利用者数延べ人数 14,033人（1日当り利用者数平均：33.3人）	B
年齢や体力に応じたスポーツの振興	98. 各校区体育振興育成補助金	●各校区体育振興会を支援し、各校区の体育振興会で市民一人ひとりが、積極的に参加できるスポーツ・レクリエーションの年間事業を企画、実施し、年齢や体力に応じたスポーツの振興と校区内住民の親睦を図る。 ◇10校区の体育振興会に各60,000円を補助している。	B
年齢や体力に	99.	●市民がスポーツ・レクリエーションをする機会をつくり、多く	

応じたスポーツの振興	市民体育祭補助金	<p>の市民が参加するような市民体育祭を開催する。</p> <p>◇・平成23年10月9日（日）に一斉に実施</p> <p>・天拝小学校区（6月5日）、筑紫小学校区（各行政区ごとに実施9月、10月、11月）、筑紫東小学校区（10月2日）</p> <p>・8校区は、ウォークラリーや運動会形式で開催（阿志岐小と吉木小は、合同で開催）</p> <p>・23年度の補助金：3,058千円</p> <p>・市民体育祭参加者数：10,405人</p>	B																
年齢や体力に応じたスポーツの振興	100. 天拝山ロードレース大会実行委員会補助金	<p>●ロードレースを開催することにより、生涯スポーツを推進し、健康の増進及び体力の向上につなげる。</p> <p>◇平成23年11月23日に実施</p> <p>選手参加者</p> <table border="0" data-bbox="630 694 949 996"> <tr> <td>10.0km</td> <td>101人</td> </tr> <tr> <td>5.0km</td> <td>293人</td> </tr> <tr> <td>2.5km</td> <td>183人</td> </tr> <tr> <td>万葉の筑紫路</td> <td>198人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>775人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ等</td> <td>279人</td> </tr> <tr> <td>総計</td> <td>1,054人</td> </tr> </table>	10.0km	101人	5.0km	293人	2.5km	183人	万葉の筑紫路	198人	計	775人	スタッフ等	279人	総計	1,054人	A		
10.0km	101人																		
5.0km	293人																		
2.5km	183人																		
万葉の筑紫路	198人																		
計	775人																		
スタッフ等	279人																		
総計	1,054人																		
年齢や体力に応じたスポーツの振興	101. 代替市民プール利用費補助金	<p>●民間の協力により、代替市民プールとして民間施設のプールを市民の利用に供し、利用料の一部を補助している。市民がプールを利用することにより、体力の向上と水泳の振興が図られる。</p> <p>◇平成23年7月を持って事業中止</p>	C																
年齢や体力に応じたスポーツの振興	102. 各種事業・教室開催事業	<p>●市民のだれもが、いつでも、どこでも、自発的・主体的にスポーツに親しむことができる環境づくりとして開催している。</p> <p>◇大会)</p> <table border="0" data-bbox="630 1355 1093 1702"> <tr> <td>・水泳大会：</td> <td>309人参加</td> </tr> <tr> <td>・市民駅伝大会：</td> <td>436人参加</td> </tr> <tr> <td>・スポレク・フェスタ：</td> <td>1,665人参加</td> </tr> <tr> <td>(教室)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・生涯スポーツセミナー</td> <td>105人参加</td> </tr> <tr> <td>・福祉レクリエーション講習会</td> <td>88人参加</td> </tr> <tr> <td>・サマーチャレンジクラブ</td> <td>191人参加</td> </tr> <tr> <td>・にこにこヘルシー教室</td> <td>419人参加</td> </tr> </table>	・水泳大会：	309人参加	・市民駅伝大会：	436人参加	・スポレク・フェスタ：	1,665人参加	(教室)		・生涯スポーツセミナー	105人参加	・福祉レクリエーション講習会	88人参加	・サマーチャレンジクラブ	191人参加	・にこにこヘルシー教室	419人参加	B
・水泳大会：	309人参加																		
・市民駅伝大会：	436人参加																		
・スポレク・フェスタ：	1,665人参加																		
(教室)																			
・生涯スポーツセミナー	105人参加																		
・福祉レクリエーション講習会	88人参加																		
・サマーチャレンジクラブ	191人参加																		
・にこにこヘルシー教室	419人参加																		
指導者・ボランティアの育成	103. 体育指導委員運営事業	<p>●体育指導委員の能力を向上させ、地域住民に対してスポーツに関する指導・助言やスポーツに関する事業の支援を行うことにより、スポーツの振興を図る。</p> <p>◇各校区体育振興会等から推薦された25人と学識経験者2人の計27人を体育指導委員として委嘱する。</p> <p>委員長・部長会及び体育指導委員会を毎月それぞれ1回開催し、各地区の連絡調整や体育指導委員の研修、市や団体の行事運営等</p>	B																

		への協力を行った。また、地域活動への実技指導等も実施した。											
施策の総合推進	104. 全国大会出場補助金	<p>●全国大会に出場する個人、団体に対して、筑紫野市における社会体育に寄与し、今後の貢献に期待できるものとして支援する。個人に20,000円、団体に200,000円補助する。</p> <p>◇全国大会等出場者への支援 23年度の補助金交付者 個人53人 団体 2団体</p>	B										
スポーツ施設の充実	105. 〈新規事業〉 指定管理者業務委託事業	<p>●民間に委託することにより、効率的な施設の管理を行い、経費の節減を図る。また、民間の知識や技術を取り入れることにより、市民に魅力のある施設の運営を行い、利用者の増大を図る。</p> <p>◇施設の維持管理・運営に関する業務を委託し、効率的な業務を行った。</p> <p>[指定管理者に委託した施設]</p> <p>・各施設の利用状況</p> <table border="0"> <tr> <td>勤労青少年ホーム</td> <td>28,150人</td> </tr> <tr> <td>農業者トレーニングセンター</td> <td>79,226人</td> </tr> <tr> <td>筑紫運動広場</td> <td>16,601人</td> </tr> <tr> <td>山家スポーツ公園</td> <td>37,516人</td> </tr> <tr> <td>御笠運動広場</td> <td>20,648人</td> </tr> </table>	勤労青少年ホーム	28,150人	農業者トレーニングセンター	79,226人	筑紫運動広場	16,601人	山家スポーツ公園	37,516人	御笠運動広場	20,648人	
勤労青少年ホーム	28,150人												
農業者トレーニングセンター	79,226人												
筑紫運動広場	16,601人												
山家スポーツ公園	37,516人												
御笠運動広場	20,648人												

認めあい、共に生きる人権尊重社会の醸成

## 5. 人権意識の向上

基本事業	事務事業	● 事業の意図	評価
		◇ 活動状況等	
市民・企業への人権意識の啓発	106. 人権問題啓発実行委員会運営事業	<p>●すべての市民に人権意識の大切さを理解してもらう。</p> <p>◇81行政区58会場にて市民懇談会が開催された。機関団体研修については、20団体実施、1団体が未実施。</p>	B
市民・企業への人権意識の啓発	107. 人権・同和問題啓発冊子の編集・発行事業	<p>●人権問題に対する正しい認識と人権感覚豊かな市民の育成によって、人権が侵害されない市民生活ができるようになっていく。</p> <p>◇・解放への一歩第38集 10月15日発刊</p> <p>・広報「人権問題特集号」12月1日発刊 市内全世帯配布</p> <p>●発刊部数 各39,000部</p> <p>・人権作文集「くさび」3月1日発刊 児童・生徒を介してPTA及び公共施設を通して配布</p> <p>●発行部数 11,000部</p>	B
市民・企業への人権意識の啓発	108. 行政区人権問題推進委員会育成助成金	<p>●市民の共同生活の場である行政区ごとに組織的な人権問題啓発活動の推進と学習活動を展開することによって、人権問題の早期解決を目指し、市民一人ひとりが人権意識の高揚に努め、人権を守り、差別をしない、させない、豊かな地域社会を実現する。</p> <p>◇81行政区すべてにおいて行政区人権問題啓発推進委員会が</p>	B

		組織され、58箇所です市民懇談会が行われた。小学校区ごとの推進員研修会は、10校区。	
同和問題の解決	109. 学習指導支援事業	●同和地区の児童生徒をはじめ、学習支援を要する児童生徒の学力が向上させる。 ◇学校教育指導主事の研修教材購入	B
同和問題の解決	110. 同和問題啓発強調月間事業	●同和問題の解決を、市民が自らの課題として捉え、差別を許さない意識の徹底を図るため各種の啓発事業を集中的に実施し、差別を許さない社会づくりの構築に向けて取り組みを展開する。 ◇7月同和問題講演会（参加者 621名） ・筑山中学校プラスバンド演奏 ・講演「福を運んだ人形まわし」 講師 辻本一英さん ・街頭駅頭啓発 ・各課職員研修会 その他の事業を事業計画に基づき実施。	B
同和問題の解決	111. 筑紫野市同和教育研究会運営費補助金	●筑紫野市同和教育研究会の運営を助成し、部落差別をはじめとするあらゆる差別からの解放を目指す人権・同和教育を実践している。 ◇年間事業計画に基づき、研究大会、学習会、講演会等を開催	A
施策の総合推進	112. 同和教育推進5中学校区事業補助金	●5中学校区の児童・生徒の人権尊重意識が高まり、一人ひとりを大切に人権・同和教育が推進されている。 ◇・5中学校区に推進委員会設置 ・ブロック研修会ならびに公開授業研を実施	B
施策の総合推進	113. 指導者養成講座	●女性問題講座の学習活動を通して「部落差別をはじめとする様々な差別の存在に気づき、地域での実践活動を通して人権思想を暮らしの中に生かし、一人ひとりの豊かな生活や幸せな未来を築くため」地域社会において核となり得る指導者を育成する。 ◇6月から2月まで、「子どもの問題」「人権問題」「部落問題」「平和問題」をテーマとして講座を開催した。	B
施策の総合推進	114. 筑紫地区社会教育振興協議会運営事業	●筑紫地区における社会人権・同和教育の現状や課題、取り組み等の情報交換を行うとともに、同和問題をはじめとする人権問題の学習、研修機会の提供を図り、社会人権・同和教育の振興と発展を期することを目的とする。 ◇・担当者研修会 ・啓発情報交換会 ・県社会人権同和教育担当者協議会研修会 ・筑紫地区社会教育関係職員同和問題研修会等の企画運営を実施した。	B
同和問題の解決	115. 識字学級	●同和地区の住民が文字を学び、自己実現のための様々な学習により差別に負けない力量が培われている。 ◇学習内容 ①文字学習を中心とした学習	

		<p>②人権問題を基本に生活文化向上の学習</p> <p>③人権尊重のまちづくりを推進するための学習</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">担当者</td> <td style="text-align: center;">学級生</td> </tr> <tr> <td>京町識字学級</td> <td>84人 147人</td> </tr> <tr> <td>美咲大学</td> <td>62人 108人</td> </tr> <tr> <td>岡田解放学級</td> <td>32人 16人</td> </tr> <tr> <td>永岡識字学級</td> <td>28人 67人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: center;">206人 338人</td> </tr> </table>	担当者	学級生	京町識字学級	84人 147人	美咲大学	62人 108人	岡田解放学級	32人 16人	永岡識字学級	28人 67人	合 計	206人 338人	A				
担当者	学級生																		
京町識字学級	84人 147人																		
美咲大学	62人 108人																		
岡田解放学級	32人 16人																		
永岡識字学級	28人 67人																		
合 計	206人 338人																		
同和問題の解決	116. 解放子ども会	<p>●日常的な子ども会活動や社会体験等を通して、自らの社会的立場を自覚し、差別に負けない、許さない強い意志と実践力をもった子どもの育成を目的とする。</p> <p>◇活動内容 学習支援活動をはじめ、社会体験を豊かにし、人を大切にする支援活動を行った。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>京町</td> <td>指導者数37人</td> <td>子どもの数13人</td> </tr> <tr> <td>美咲</td> <td>30人</td> <td>29人</td> </tr> <tr> <td>岡田</td> <td>23人</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>永岡</td> <td>23人</td> <td>6人</td> </tr> </table> <p>※指導者については、人権政策課子ども会指導員、教務課派遣職員、小・中学校教職員</p>	京町	指導者数37人	子どもの数13人	美咲	30人	29人	岡田	23人	8人	永岡	23人	6人	A				
京町	指導者数37人	子どもの数13人																	
美咲	30人	29人																	
岡田	23人	8人																	
永岡	23人	6人																	
同和問題の解決	117. 各部運営学級育成補助金 (女性部)	<p>●同和地区住民の自立に向けた教育活動を支援することにより、地区住民の生活の向上を図る。</p> <p>◇活動内容 実態的差別の克服をめざして、地域の教育力を高める活動を実践した。</p> <p>女性部 250人</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>①研修会 (女性集会・識字担当者研修会)</td> <td style="text-align: right;">644人</td> </tr> <tr> <td>②全体学習会</td> <td style="text-align: right;">97人</td> </tr> <tr> <td>③健康学習会 (栄養教室)</td> <td style="text-align: right;">92人</td> </tr> <tr> <td>④福祉学習会 (福祉対策会議)</td> <td style="text-align: right;">36人</td> </tr> <tr> <td>⑤地域活動 (子どもまつり・遊ゆうまつり)</td> <td style="text-align: right;">57人</td> </tr> <tr> <td>⑥識字学級活動</td> <td style="text-align: right;">2,380人</td> </tr> <tr> <td>⑦懇談会・交流会</td> <td style="text-align: right;">94人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: right;">3,400人</td> </tr> </table>	①研修会 (女性集会・識字担当者研修会)	644人	②全体学習会	97人	③健康学習会 (栄養教室)	92人	④福祉学習会 (福祉対策会議)	36人	⑤地域活動 (子どもまつり・遊ゆうまつり)	57人	⑥識字学級活動	2,380人	⑦懇談会・交流会	94人	合 計	3,400人	A
①研修会 (女性集会・識字担当者研修会)	644人																		
②全体学習会	97人																		
③健康学習会 (栄養教室)	92人																		
④福祉学習会 (福祉対策会議)	36人																		
⑤地域活動 (子どもまつり・遊ゆうまつり)	57人																		
⑥識字学級活動	2,380人																		
⑦懇談会・交流会	94人																		
合 計	3,400人																		
同和問題の解決	118. 各部運営学級育成補助金 (子ども会)	<p>●同和地区住民の自立に向けた教育活動を支援することにより、地区住民の生活の向上を図る。</p> <p>◇活動内容 実態的差別の克服をめざして、地域の教育力を高める活動を実践した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>子ども会</td> <td style="text-align: right;">59人</td> <td style="text-align: right;">延べ人数</td> </tr> <tr> <td>①日常的活動 (センターでの学習)</td> <td style="text-align: right;">7,748人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②合同学習、研修</td> <td style="text-align: right;">179人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③体験活動 (合宿他)</td> <td style="text-align: right;">42人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>④交流会 (保育所・海水浴)</td> <td style="text-align: right;">63人</td> <td></td> </tr> </table>	子ども会	59人	延べ人数	①日常的活動 (センターでの学習)	7,748人		②合同学習、研修	179人		③体験活動 (合宿他)	42人		④交流会 (保育所・海水浴)	63人		A	
子ども会	59人	延べ人数																	
①日常的活動 (センターでの学習)	7,748人																		
②合同学習、研修	179人																		
③体験活動 (合宿他)	42人																		
④交流会 (保育所・海水浴)	63人																		

		⑤野外活動（平和行進・キャンプ） 112人 ⑥地域活動（子どもまつり・オータム・カヌー） 52人 ⑥各種活動（ダンス教室・太鼓教室） 450人 合 計 8,646人	
同和問題の解決	119. 各部運営学級育成補助金（老人部）	●同和地区住民の自立に向けた教育活動を支援することにより、地区住民の生活の向上を図る。 ◇活動内容 実態的差別の克服をめざして、地域の教育力を高める活動を実践した。 老人部 224人 延べ人数 ①定例学習会 1,087人 ②老人識字 399人 ③研修会（館外で学習） 224人 ④交流会（保育所・子ども会との交流） 312人 ⑤各種教室（長生きがい教室） 553人 ⑥地域活動（子どもまつり奉仕活動） 34人 合 計 2,609人	A
同和問題の解決	120. 各部運営学級育成補助金（成年）	●同和地区住民の自立に向けた教育活動を支援することにより、地区住民の生活の向上を図る。 ◇活動内容 実態的差別の克服をめざして、地域の教育力を高める活動を実践した。 成人男子 203人 延べ人数 ①役員会・運営委員会・全体学習会・定例学習会 2,311人 ②各種学習会（館外・パソコン・健康学習会他） 249人 ③研修会（人権・同和問題講演会） 10人 ④交流会（視察・地域・保育所・子ども会との交流） 262人 ⑤地域活動（子どもまつり・カヌー・オータム奉仕活動） 1,586人 合 計 4,418人	A
同和問題の解決	121. 各部運営学級育成補助金（青年部）	●同和地区住民の組織的な教育活動に対し、事業補助すること で、社会的課題としての同和問題の解決に寄与することを目的 ◇活動内容 実態的差別の克服をめざして、地域の教育力を高める活動を実践した。 青年部 202人 延べ人数 ①学習会（青年部活動者会議） 17人 ②研修会（全国青年集会） 14人 ③役員会 72人 ④交流会（青年部スポーツ交流会） 37人 合 計 140人	A
同和問題の解決	122. 各部運営学級育成補助金（子ども会育成会）	●同和地区住民の組織的な教育活動に対し、事業補助すること で、社会的課題としての同和問題の解決に寄与することを目的 活動内容 実態的差別の克服をめざして、地域の教育力を高める活動を実践した。	A

		子ども会育成会 55人 延べ人数 ①定例学習会 580人 ②各種学習会（就学前・3支部育成会・運営委員会） 154人 ③研修会（人権・同和教育） 14人 ④交流会（子ども会・育成会共に歩く会） 85人 ⑤懇談会（市内小中学校） 112人 ⑥体験活動（親子体験活動） 7人 ⑦地域活動（遊ゆうまつり奉仕活動） 4人 ⑧その他の活動（資源回収） 40人 合 計 1,029人	
同和問題の解決	123. 各部運営学級育成補助金（各種学級）	●同和地区住民の組織的な教育活動に対し、事業補助することで、社会的課題としての同和問題の解決に寄与することを目的 ◇活動内容 実態的差別の克服をめざして、地域の教育力を高める活動を実践した 各種学級生 227人 ①英会話教室 61人 ②音楽教室 790人 ③健康料理教室 1,352人 ④民舞教室 256人 ⑤健康体操教室 565人 ⑥カラオケ教室 278人 ⑦アートフラワー 135人 ⑧手芸教室 263人 ⑨生け花教室 52人 ⑩盆栽教室 155人 合 計 3,907人	A